

さっぽろ農学校専修コース Q&A

★受講申込について★

入門コースと併願はできますか

入門コースと併願は可能です。

「専修コース」は土曜日開催を主としており、「入門コース」は日曜日に開催しています。

★受講に際して★

農業(農作業)の経験がまったくないのですが、専修コースを受講できますか

受講生のほとんどは、未経験または、少し家庭菜園を経験したことのある方です。

新規就農や農業ボランティアなどを目指している。また、家庭で野菜を上手に作りたいなど、意欲があれば、経験がなくても受講できます。

どのような方が専修コースを受講していますか

今までの受講者の年齢層は、30代から60代が多く、男女比は7:3ほどです。

受講動機としては、「家庭野菜で上手に野菜を作りたい」とお考えの方が一番多いのですが、「新規就農を考えているが経験がないため、基礎を学びながら農業をやっていけそうか見極めたい」、「自営のレストランで、自分で作った野菜を使いたい」という方など、様々な考えをお持ちの方々に受講していただいております。

受講者本人以外の家族、会社の同僚、友達などが代わりに受けることはできますか

原則として、本人以外の受講は認めておりません。

農学校での農作業に家族、友人などを同伴することも認めておりません。

受講料は、どのように払うのですか

受講料 48,000 円については、札幌市が発行する納入通知書で4月中に支払っていただきます。納入通知書は開講式のあとに配布する予定です。

受講料(48,000 円)にはどのような費用が含まれていますか？これ以外にかかる費用はありますか

受講料には、実習で使用するテキスト代、種苗代、肥料・農薬などの農業資材代などが含まれており、追加の負担は原則ありません。

平日は仕事で一切出席することはできませんが、受講は可能でしょうか

原則として毎週土曜日の受講でカリキュラムが消化できるように配慮しています。

実習を行う圃場は、受講者が自ら管理する自主圃場と受講生全員で管理する共同圃場があります。平日の共同圃場は受講生と支援センターの方で管理しますが、自主圃場は受講生個人で管理する必要があります。このため、平日に自主圃場の管理ができない受講生は、作物の作付などで工夫する必要があります。(※圃場＝畑)

★受講申込書について★

定員に満たないときも選考は行うのでしょうか

定員に満たない場合も、さっぽろ農学校の設置目的に照らして選考いたします。

新規就農や農業ボランティアとして活動しない人は専修コースを受けることはできないのですか

受講は可能です。札幌市としては、新規就農や農業ボランティアとして農業に関わりのある活動を希望する方に受講していただきたいと考えていますが、野菜づくりの技術を上達させたいと意欲のある方にも受講していただいております。

受講申込書はどのように書けばよろしいのでしょうか(記載例はありますか?)

まだ具体的に将来の方向性など決まっていない場合はどのように書いたらいいのでしょうか。

「応募の動機」「農業に対する考え方」「将来の希望」など、それぞれについて、ご自身の思うところを自由に記載してください。記載例はありません。

なお、自筆での記入が原則ですが、特段の事情がある場合はワープロ等により印刷したものを添付することも可能です。

★選考について★

選考基準について教えてください

どのように選考するのですか

提出いただいた応募調書を基に、受講者選考委員会を開催して厳正に書類審査をいたします。選考基準については、応募調書にある「応募の動機」「農業に対する考え方」「将来の希望」について、さっぽろ農学校の設置目的を踏まえて、受講に向けた熱意や積極性などを判断いたします。

専修コース受講生として求められる(期待される)姿はどのようなものですか

新規就農など「新たな担い手」や「農業ボランティア」の育成を目的として設置しており、専修コース受講生の方には、家庭菜園や市民農園の利用のみならず、積極的に札幌の農業を支える意識を持ち、食と農の大切さを発信できる人材を求めています。

将来的に家族で新規就農を目指しています。夫婦や兄弟で応募したとき考慮してもらえますか

実際の農業生産にあたっては、家族の手伝いや理解が必要であることは十分承知しており、ご提出いただいた応募調書の内容で個別に判断させていただきます。

将来、札幌市外で農業に携わることを考えていますが、それでも受講はできるのでしょうか

札幌市内で農業に携わっていただくことを第一に考えています。しかし農学校の修了生が、近郊市町村において札幌市民に向けて安全安心な農産物を生産することや近郊の農業生産を支えていくことは、本市としても意義深いことと考えております。

選考結果はいつわかりますか

選考結果につきましては、ご応募いただいた書類を整理した上で、選考委員会を開いて慎重に選考させていただきます。選考結果は、可否にかかわらず3月中旬頃に郵送で通知する予定です。

★講座修了後について★

専修コースを修了すれば、すぐに農業を始めることができるのですか

新規就農したいがどうすればよいのですか

農業者の資格認定を受けることができるのですか

講座修了後、直ちに新規就農者として農業を始めることは難しいのが現状です。新規就農にあたっては、農地確保の問題、就農資金の問題や、実際の農作業や生産したい作物によっては、さらに栽培知識を積むことが必要になってきますので、個別にご相談をいただき、準備を進めていただくこととなります。

一般的には、講座修了後に農家の下で就農研修を2~3年受けていただくとともに、就農地の目処が立っていることが、新規就農（農業者の資格認定）の際に必要なとなります。

就農研修に際しては、各種の貸付制度や支援措置がありますので、ご相談ください。

専修コースを修了すれば、新規就農に必要な知識技術を身につけることができるのですか。

受講生のこれまでの農業経験により一概には言えませんが、新規就農にあたっては、広い面積で質の高い農産物を安定的に生産していく技術を身につける必要があり、講座修了だけでそこまでのレベルに到達するのは難しいと思われれます。

新規就農や農家研修、子どもたち等への農業体験の講師、農業ボランティアなど、農業に関わる様々な道に進んだ時に、基礎となる農業の技術や知識を学んでいただくことを目指しています。また、家庭菜園などの自給的な農業にも活用できる内容となっています。

農地は斡旋してもらえるのですか、また、どうやって確保できるのですか

農家に知り合いがいる場合などを除けば、個人で農地を確保していくことは大変難しいことかと思えます。農地を斡旋する制度はありませんが、新規就農を目指す方については

就農に向けた相談の中で農地確保に向けてお手伝いさせていただいています。

これまでの就農者の実績はどうか。

平成 13 年度から開講して、今までに修了した方 466 名のうち、約 60 名が就農しています。(研修中の修了生は含みません。)

専修コースを修了してのメリットはありますか

修了認定を受けてなんらかの資格を得られるなどのメリットはありません。しかし、農業に関する知識技術を身につけることができることはもちろん、同じような志を持った受講生とのネットワークができることが大きな財産となります。